

ふれあい

JAみちのく村山「ふれあい」No.378 2026. 9. 10発行
編集・発行／みちのく村山農業協同組合 山形県村山市堀岡北町一丁目1番1号 TEL0237-55-6311(代) FAX0237-55-5825

JAみちのく村山ホームページ <http://www.mtinoku.or.jp> E-mail info@mtinoku.or.jp
私丁・落丁・不測の際はお取替えいたします。再生紙を使用しています。印刷・製本／街印刷文化堂

こちらにも
アクセス!!

ホームページ ➡



JAみちのく村山

レシピ提供 ● 料理研究家 和田麻紀子

家族で楽しむおいしい一皿

カボチャと芋は秋のおいしい楽しみ!



サツマイモの 韓国風肉じゃが

定番の肉じゃがの
雰囲気を変えて

材料(4人分)

サツマイモ …………… 250g
牛肉(小間切れ) …………… 150g
ゴボウ …………… 1/2本(100g)
ネギ …………… 1/2本(50g)
ニンニク …………… 1片(5g)
ごま油 …………… 大さじ1

かつおだし …………… 300ml
しょうゆ …………… 大さじ2
酒 …………… 大さじ2
みりん …………… 大さじ1
コチュジャン …………… 小さじ2
砂糖 …………… 大さじ1/2

白ゴマ、糸唐辛子 …………… 適宜

作り方

- ①サツマイモは食べやすい大きさに切って、水にさっとさらして水気を切っておく。ゴボウとネギは斜め薄切りに、牛肉は食べやすい大きさに切り、ニンニクはつぶしておく。
- ②鍋にごま油をひいてニンニクを熱し、香りが出たら①の野菜を入れて軽く炒め、牛肉を入れてさらに炒める。
- ③②にAを加えて沸騰したらあくを取り、落としぶたをして中火で15分間煮る。サツマイモに串が通るようになったら落としぶたを取って、煮汁がほんの少しになるまで煮る。火を止めて冷ますと味が染み込む。好んで白ゴマや糸唐辛子を添えて出来上がり。

ポイント

サツマイモは多少煮崩れても OK です!
おらかな気持ちで調理しましょう。

アレンジ

- 糸こんにゃくを加えてボリュームアップ
- 溶けるチーズをかけてマイルドな味に

おらえのめんごっこ



天童市一日町

菅井 航太 く ん(5歳)
ちさき 千咲 ちゃん(3歳)

▼名前の由来は?

— 航太くんは、元気に太陽のような笑顔で大空を航り、世界にはばたいてほしいと、千咲ちゃんは、春に生まれたので、満開の桜のように千の希望が咲きますようにという思いを込めて名付けました。

▼頑張っていることは?

— 航太くんは、プールでバタ足や顔をつけて泳ぐのを頑張っています。千咲ちゃんは、大きなプールに入ってワニさん泳ぎをするのを頑張っています。

▼好きな食べ物は?

— 航太くんは、ぶどうやフライドポテト、芋煮、千咲ちゃんは、りんごやとうもろこし、チョコバナナが大好きです。

▼成長を感じる瞬間は?

— 航太くんは、恥ずかしがり屋ですが、お友達や先生に自分から話ができるようになったこと、千咲ちゃんは、自分で着替えと歯磨きができるようになったことには成長を感じます。

▼両親からお子様へのメッセージ

— 元気でにぎやかな2人、楽しく笑顔を絶やさず、何でも食べて大きくなってね。





▲米需給環境整備などを求めた要請集会

当JAの女性部部長で、県JA女性組織協議会の犬飼紀子副会長ら4人が意見表明しました。犬飼副会長は「昨年のコメ騒動で痛感したのは、需給と価格の安定が生産者と消費者の双方にとって重要。適正な価格形成や持続可能な農業の実現に向け、消費者への理解醸成や国産の農畜産物を選ぶ



▲「頑張ろう三唱」で要請の実現を訴える、当JAの実行組合、青年部、女性部の代表と役員ら

大石田営農センター敷地内に新築する多目的物流倉庫の起工式が8月6日、建設現場で行われ、庄司中大石田町長、JA全農山形や工事関係者、JA役員ら40人が出席し、工事の安全を祈願しました。最上川河川拡幅工事によりJAの2施設の解体が求められています。大石田地区の施設再編整備に伴い大石田農機センターを移転し、その跡地に、農産物の集出荷業務やふるさと納税業務、資材の保管

業務等、多目的に活用できる倉庫を新築します。神事に続き、三浦組合長が「この物流倉庫は農業に関する地域独自の多様な取り組みを可能にする倉庫。関係機関と協力しながら皆様の意見を十分に反映した運用に努め、本倉庫の機能を十分に発揮していく」とあいさつしました。この施設は鉄骨造一部2階建てで、延床面積は420平方メートル。工期は12月24日までとなっています。

持続可能農業実現へ

米需給環境の整備求める

～食料・農業・地域政策推進要請集会～

JAグループ山形は8月18日、山形市の山形テルサで、食料・農業・地域政策推進山形県要請集会を開きました。県内JAの組合員や生産者、役員ら約70人が参加。当JAからは、農事実行組合や青年部、女性部の代表、役員ら65人が参加しました。JA山形中央会の若林英毅会長、吉村美栄子知事のあい

さつに続き、要請では、「持続可能な水田・畑作農業対策の確立」「農業・農村の持続的な発展に向けた施策の拡充」など9点の主要項目の実現を強く要請しました。主食用米の民間在庫が膨れ上がり、大幅な米価下落が懸念されている中、食料安全保障の前提となる持続可能な農業の実現に向け、米の需給環境の整備や生産現場の実態をふまえた水田政策の見直し、適正な価格形成に向けた消費者の理解醸成を県選出国會議員に働きかけました。

要請集会に先立ち、食品産業センターの荒川隆理事長が「米をめぐる情勢と今後の展望」と題して講演しました。



▲意見表明する県女性協の犬飼副会長

大石田に多目的物流倉庫 ～起工式行い新築工事始まる～



▲安全を祈願し鍬入れを行う三浦組合長



今月の表紙

▼就農したきっかけは？
本格的に就農してまだ半年ですが、以前から農業は好きで、いつかは父の跡を継ぎたいと考えていました。今年3月、家族との話し合いを経て、就農を決意。現在は、家族みんなで水稲、すいか、ソバを栽培しています。会社勤めの時は、休日に父の手伝いをする程度でしたが、実際の作業は分からない事ばかりで、ほとんどが初めての経験です。父の指導を受けながら日々農業を学んでいます。
▼一年の作業の流れは？
一年をとおした作業の流れはすべて把握できているわけではありませんが、毎日新しい発見があり、楽しく農作業に取り組んでいます。今年の春には、航空防除のオペレーター資格を取得し、大石田町の航空防除活動にも参加しました。冬期間はみちのくサービスで働く予定です。
▼農業の魅力は？
農業の魅力は、手間をかけた分だけ結果が返ってくることです。また、農業は仲間とのつながりが強い職業で、周りには若くても経験豊富な先輩農家が多くいます。その人たちとの交流は楽しく、面倒見の良い仲間たちに日々感謝しています。さらに、青年部の活動も充実していて、同世代の農業者が多く、情報交換の場としても有益です。
▼リフレッシュは？
高校2年生の長男は野球、小学5年生の長女は陸上とクロスカントリースキーをしています。それぞれの大会の応援に出向くことで元気をもらっています。
▼課題と今後の目標は？
現在は父が農業の先生として栽培技術の指導をしてくれています。一人前の農業者になることを目指し、努力を続けていきたいと考えています。また、離農による田んぼの集約化が進んでいます。仲間と協力しながら田んぼの維持管理に努め、昔ながらの美しい風景を守り続けたいと思っています。

お天気カレンダー
気象予報士 檜山靖洋
秋は夕暮れ
「秋は夕暮れ」。『枕草子』の中でも、とりわけ親しまれている一節です。作者の清少納言は、夕日が差し、山の端がくっきりと見える秋の夕暮れの美しさを描きました。1000年以上も前の人々も、この季節の空に心を動かされていたのです。
気象の面から見ても、秋の夕暮れが美しいのには理由があります。夏に比べて空気中の水蒸気が少なくなり、遠くの景色まで見通しやすくなるためです。澄んだ空気の中で夕日が山並みを照らし、空はあかね色から群青色へとゆっくり表情を変えていきます。
10月は日の入りが日に日に早くなる季節でもあります。つい先日まで明るかった帰り道が、同じ時刻でも、いつの間にか夕暮れに包まれていることに気付く頃でしょう。
忙しい毎日の中でも、ほんの少し足を止めて、西の空を眺めてみませんか。清少納言が愛した秋の夕暮れは、1000年の時を超えて、今も私たちの頭上に広がっています。



元気にがんばってます！

大石田町桂木町
三浦 崇 さん(43歳)

CONTENTS もくじ

NO.378
2026. 9

- (今月の表紙)元気にがんばっています
／お天気カレンダー…………… 2
- 食料・農業・地域政策推進要請集会
／大石田に多目的物流倉庫…………… 3
- ニュース展望台 …………… 4
- 傷害共済集団加入のおすすめ
／公道での農機による交通事故の要因と対策 …… 9
- 国消国産を語ろう …………… 10
- みちのくぼいす／クロスワードパズル …………… 12
- お知らせ掲示板 …………… 14
- 家族で楽しむおいしい一皿
／おらえのめんごっこ …………… 16

七輪囲み最高級和牛に舌鼓

～尾花沢で牛肉まつり～

尾花沢市、JAみちのく村山、市内の畜産農家などで構成する尾花沢牛振興協議会は8月15日、尾花沢市の徳良湖畔花笠広場で「第30回尾花沢牛肉まつり」を開きました。

この日は、地元の(株)BELFARMと(有)スカイフームおざきが肥育した尾花沢牛の最高級ブランド「雪降りと牛尾花沢」2頭分の精肉

約300キを準備。家族連れや帰省客など約1000人が訪れ、七輪を囲み、A5ランクの最高級霜降り牛肉を堪能しました。

宮城県仙台市から家族で訪れた、姉の中学3年生の目黒希美さん(15)と弟の小学6年生の目黒七海さん(11)は「初めて参加したが、甘くてやわらかく、口の中であじわるみたいでおいしい。夏休みの楽しい思い出になった。来年も是非参加したい」と尾花沢牛の味に舌鼓を打っていました。



▶会場で「雪降りと牛尾花沢」を味わう来場者

会場では牛肉の販売や、JAみちのく村山による特産「尾花沢すいか」のふるまい、豪華景品が当たる大抽選会も行われ好評を得ました。

村山営農センターきゅうり生産部では、8月17日からJAやまがたのきゅうり選果場を利用する越境選果が始まりました。県内有数のきゅうりの産地であるJAやまがたの選果場の広域利用が本格化して6年目。新規生産者3人が加わり、夏秋きゅうりの作付面積も22㍓ほど広がりました。きゅうりは、選別や箱詰めなどに手間がかかるため、規模拡大に踏み込めないのが実情。近隣JAの選果場を利用

きゅうり“越境”選果始まる

～生産規模拡大に一役～



▲目ぞろえ会で基準を確認する生産者

させてもらい、余った労力を規模拡大に生かしています。約100本入る専用のコンテナにきゅうりを並べ、JA本店敷地内の集荷場で集荷した後、専用のトラックで選果場まで運びます。今年は12人の生産者が越境選果に取り組み、最盛期には日量約350コンテナほどが出荷され、10月中旬まで続く見通しです。

8月7日には目ぞろえ会を開き、出荷されたきゅうりを見て基準を再確認しました。

草刈りボランティア

～JA青年部戸沢支部～

JA村山市青年部戸沢支部(佐藤達也支部長)の盟友らが戸沢小学校やスポーツグラウンドの草刈りボランティアを行いました。

以前は、地域の夏まつりや運動会前にPTAや学校、市民センターなどが協力して行っていました。食農教育のつながりもあり青年部で実施することになりました。今後、もタイムングを見ながら継続してグラウンドの草刈り作業を行っていく予定です。



▶戸沢小のグラウンドの草刈り作業をする青年部員

来年度に向け栽培管理学ぶ

～さくらんぼ夏季講習会～



▲斎藤さんの園地で行われたさくらんぼの講習会

村山営農センターさくらんぼ生産部(芦野貴之部長)は、8月20日、21日の2日間、さくらんぼの夏季管理講習会を各地区で開きました。

20日に開かれた戸沢地区の講習会には、生産者ら16人が参加。村山市樽石の斎藤真栄さんの園地で、北村山農業技術普及課の荒澤直樹シニア専門員が、現在の園地の状況を把握した上で、来年度に向けた双子果対策や基本的な施肥の考え方について説明しました。

双子果対策として、9月上旬まで遮光資材の設置や夏季剪定については基本行わず、樹勢が極端に強い場合のみ9月上旬以降に実施する方針が示されました。特に「紅秀峰」については、双子果が特に発生しやすい樹勢が低下しやすい品種であるため、樹勢が強い場合でも実施しないよう注意点が説明されました。参加した生産者たちは、来年度に向けて良品なさくらんぼの生産に意欲を見せていました。

目ぞろえで共選規格再確認

～早生りんご出荷打ち合わせ会～

村山営農センターりんご生産部(青柳篤部長)は、8月21日に早生りんごの出荷打合せ会を開き、生産者ら13人が参加しました。

令和8年産りんごの生育と県内、県外主産地の販売状況の報告に続き、JAの担当者が果実選果施設の集荷体制について説明。出荷については、8月27日から共選を開始することを確認しました。

引き続き行われた目ぞろえ会では、キズや日焼け、変形などのサンプルを用いて、共選規格の統一を図っていくことを確認しました。



▲目ぞろえ会で規格を確認する生産者

米穀の情勢について講演

～JA営農法人協議会～

JAみちのく村山営農法人協議会は8月6日、東根市で米穀の情勢に関する講演会を開き、協議会に加盟している10団体の代表やJAの役職員ら30人が出席しました。

当JAの米取り引き先のMMライス(株)の高津正樹執行役員が「直近の米穀情勢について」と題して講演。令和7年産米の価格高騰を受け、コメ離れが加速し、在庫が積み上がり、値下げが実施されている状況です。生産者、JA、卸が三位一体となり、生産コストの最低防衛ライン・20,535円(玄米60キ。あたり)を踏まえ、徹底したコスト削減などをとおして、適正価格と持続可能な流通を構築していく必要性を示しました。



▲講演する高津執行役員



▲ももの出来をチェックする審査委員

「村山市産モモ品評会」が8月24日、道の駅むらやまで開かれました。審査の結果、村山市戸沢の松田龍仁さんが最優秀賞に輝きました。松田さんは最高糖度賞（16・6度）も受賞しました。

松田さんが最優秀賞受賞 ～村山市産モモ品評会～

幹は「出品されたももは、着色、ポリウム感、玉揃いの良さは素晴らしい、異常気象が続く中でも高品質なももを育て上げた生産者の技術力と努力には敬意を表する。今後もおいしいももを全国の消費者に届け、村山市産もものブランドを高めてほしい」と締めくくりました。

その他の受賞者は次の通り。
▽優秀賞Ⅱ太田和明（西郷）、門脇信悦（大久保）
▽奨励賞Ⅱ犬飼重尚（大久保）、芦野千代雄（大久保）

当JAは8月17日、JA本店で共済窓口担当者（スマイルサポーター）の接客技能を競うカウンターセールスコンテストを実施しました。JAの4支店から1人ずつ4人が出場。審査の結果、楯岡支店の伊藤亜美さんが最優秀賞に輝き、9月2日に開かれた県大会に出場しました。

楯岡支店・伊藤さんが最優秀 ～JAカウンターセールスコンテスト～



▲最優秀賞に輝いた伊藤さん

コンテストは、就職に伴い購入した自動車近く納車予定で、家族の勧めでJAに来店したお客様に、新規内容を提案するという設定。同JAの細矢清一常務ら5人が審査員を務めました。JA共済連山形の担当者が来店者を演じ、22分の持ち時間で声掛けから保障設計書の説明、提案などを実践。ロールプレイング形式で日頃の業務で培ったスキルを競い合いました。



▶2日間、お盆の大売り出しが行われた（はいっ）

8月7日、8日の2日間、JAグリーン4店舗と産直館はいっ、つなぎでお盆大売り出しを行いました。肥料、農薬はもちろん、お盆向けの食料品や酒類などを特別価格で提供。山形牛も数量限定で販売されました。

JAグリーンで 大売り出し

4品目対応の果実選果施設稼働

トマト、もも、りんご、西洋梨の4品目対応の果実選果施設が6月24日からトマト、7月26日からももの選果が始まり、8月下旬からはトマト、もも、りんごの3品目の選果が行われ最盛期をむかえています。

この選果施設は、平成30年に「能力向上」工事が完了し、「2ステージセンサー」方式を採用することにより、糖度、熟度、内部褐変、蜜などを、さらに鮮明に判別できるようになりました。高品質の品物をリレー販売で有利販売を目指します。



▲目視によるももの選果作業

すいか真っ二つ ～尾花沢で全日本選手権～

第15回全日本すいか割り選手権大会が8月9日、徳良湖畔特設会場で開かれ、県内外から26組、78人が出場。大人から子供までが、競技としてのすいか割りを楽しみました。

直径5㍓、長さ120㍓以内の棒と日本国産すいかを使うのがルール。チームは、目隠し姿に棒を持った「割り人」と、指示を出す「サポーター」2人の3人1組で構成。5回3分の2回転した後スタートし、制限時間1分30秒以内に7㍓先にあるすいかを割り、その割り具合に点数をつけて競います。

競技では、サポーターの指示を頼りに、ふらつく足取りですいかに迫り、狙いを定め思い切り棒を振り下ろし周囲の観客から歓声が上がっていました。

特産のすいかが食べ放題で、このイベントで使われたすいかは、当JAが提供しました。



▲目隠しをしてすいかを割る参加者

来年に向けすいか栽培講習会 ～村山すいか生産部～

村山すいか生産部は8月27日、JA本店で来年に向けたすいかの栽培講習会を開きました。

生産者ら約60人が出席。中里幸喜部長のあいさつに続き、北村山農業技術普及課の藤島弘行専門普及指導員が「今年は適度な降雨もあり、病害の発生も少なかった。規格外品で一番多いのはウルミ果で、小さい玉での発生が多いため、目標着果数となるように摘果を行い、3L中心の生産が望まれる」と述べました。種苗会社である(株)萩原農場の坪井直志普及開発部長は、今年から導入した新品種「祭ばやし777a」の特性について改めて説明し、目標着果数の確保、着果棒などを利用した適期収穫が重要で、『大きくする』から『中身の充実した大玉を作る』という意識が必要だ」と訴えました。

来年に向け生産者たちは、さらに高品質の「尾花沢すいか」栽培に取り組むことを確認しました



▶来年に向けすいかの栽培について学んだ講習会

管内各地で廃プラ回収

当JA管内では、6月から廃プラ回収が行われています。尾花沢地区では8月24日、25日の2日間、カントリーエレベーター前で回収作業が行われました。両日とも開始直後から農家のトラックが列を作り、JA職員が対応。使用済みの農業用ビニールや肥料袋、育苗箱などが荷台から下ろされ、計量後回収車両へ積み込まれました。

また、村山地区では9月3日から4日間、大石田地区では8月26日から3日間廃プラ回収が行われました。



▶ビニールを回収用コンテナに入れる農家（尾花沢）

管内各地で航空防除を実施

7月下旬から8月下旬にかけて、当JA管内で、有人・無人ヘリ、ドローンによる水稻の共同防除が行われました。今年、村山地区では2回散布で、延べ4457㍓、尾花沢地区では3回散布で、延べ431㍓、大石田地区では2回散布で、延べ1298㍓の防除が行われました。

この取り組みは、適正農業を散布することによる、良質米の安定した生産のため毎年行われています。

また、8月2日には、JA本店敷地内で村山市航空防除協議会役員や各関係機関、JA役員が出席し、今年度計画された村山市内における航空防除事業の安全祈願祭を執り行いました。



▲航空防除の安全祈願祭(村山)



▶有人ヘリコプターでの共同防除(村山)

家の光記事活用料理に挑戦

～女性部西郷支部～

7月6日に『飴葉プラザ』で開かれた料理教室の内容を、広く女性部員に伝達しようと、女性部西郷支部では8月10日、西郷地区市民センターで伝達料理教室を開きました。

女性部員23人が参加。飴葉プラザでの料理教室に参加した、高橋和子支部長らを講師に手軽にできる料理に挑戦。4つの班に分かれて、大葉やさけ、カツオふりかけを使った「押し寿司」、「豚肉とほうれん草のふわふわ卵炒め」、豚バラ肉や長ねぎ、にんにく、生しいたけを使った「サンラータンスープ」、デザートとして「水無月」の4品を作りました。

完成した料理を試食した女性部員たちは、おいしさに舌鼓を打ち出来栄えに満足していました。



▶手軽にできる4品に挑戦した女性部員



「豪快、華やか」笠回しを披露

～おばなざわ花笠まつり～

花笠踊りの発祥地である尾花沢市の「おばなざわ花笠まつり」が8月27日、28日の2日間行われました。28日の花笠踊り大パレードには、54団体、1660人の踊り手が参加。当JAからは職員ら25人が参加し、「ヤッショー、マッカシヨ」の掛け声にのせて、豪快で華やかな笠回しを披露しました。

8月22日、23日の徳内まつりでは、楯岡支店の敷地内に「屋台村」をオープン。職員らが焼き鳥や焼きそば、かき氷などを販売し、夏の祭りを盛り上げました。



▶花笠踊り大パレードに参加したJA職員



▶徳内まつりで賑わった「屋台村」

かき氷
おいしいね!



特別推進中!

今日の備え。明日も元気に。

傷害共済 集団加入

このチャンスにご家族全員のご加入をおすすめいたします。共済期間中に傷害にて治療を受けられた方、請求手続きをお忘れなくお願いします。

ご加入年齢 0歳～99歳まで

- JAの傷害共済は、日常生活や農作業中における事故やケガの時に支払います。
- 手頃な掛金で加入できます。
- 通院や入院・死亡時にも共済金を受け取れる充実の保障が魅力です。

●この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「傷害共済約款」を必ずご覧ください。

[26062000143]

JAみちのく村山の
集団契約傷害共済は掛金が
約15%もお得になります!

※集団契約の被共済者数が5,000人～9,999人の場合

なんと!



公道での農機による交通事故の要因と対策

事故発生要因 公道での農機の交通事故は大きく分けて単独事故と他の車両からの追突事故の2種類があります。

単独事故

1.用水路等への転落

運転操作ミスや道路環境が悪いことにより、田畑や用水路等へ転落。

2.傾斜地での横転

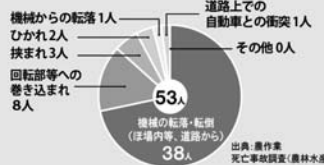
農機は通常の車に比べ重心位置が高いため傾斜地等でバランスを崩して横転。傾斜地等で自然に動き始めた農機にひかれる事故。

追突事故

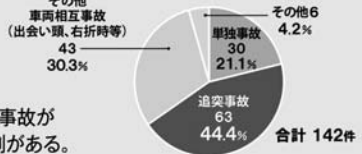
夜間等における追突

夜間は後続車から農機が発見されにくく、追突事故が起る。昼間のトンネル内でも追突事故の事例がある。

原因別の農業機械作業に係る死亡者数
(令和6年乗用型トラクター)



事故類型別重傷事故件数
(令和3年～令和7年合計)



出典:警察庁資料 ※割合については小数点以下第2位を四捨五入



自動車共済で
備えられます!

農耕作業用小型特殊自動車<ご契約例>
新規6D等級(事故有係数適用期間0年)

共済掛金 14,050円(一時払)

共済期間:12ヶ月 年齢条件:年齢を問わず レッカー・ロード費用保障条項:有 自動継続割引:有
弁護士費用保障条項:有 対人賠償:無制限 対物賠償:無制限(免責0円)(対物超過修理費用保障:有)
人身傷害保障3,000万円(被共済者限定特則:無) ※お支払には所定の要件があります。(令和8年4月現在)

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

ご契約内容のご確認・お問い合わせは
JAみちのく村山 各支店まで

JA共済
[26062000049]

国消国産を語ろう

クイズ監修：管理栄養士・小嶋絵美

毎年10、11月は国消国産月間です。
国消国産とは、「私たちの国で消費する食べ物は、できるだけこの国で生産する」という、JAグループのメッセージ。
この期間は、食や農に関心を持ってもらえるよう、全国各地でイベントやキャンペーンが行われます。
食の未来を自分ごととして捉え、国産を選ぶ価値を考えてみませんか。

人にしゃべりたい
細かすぎる
農畜産物クイズ



©みんなのよい食プロジェクト

- Q1 良質のタンパク質を含むとされるのはどちらでしょうか？
A 米
B 小麦
- Q2 ブドウの最も甘い部分は？
A 房の上の部分
B 房の下部分
- Q3 本当にある牛肉の部位はどれでしょうか？
A マメ
B イモ
- Q4 私たちは栗のどの部分を食べているのでしょうか？
A 果肉
B 種
- Q5 乳牛・ホルスタイン1頭から1日に搾れる牛乳の量は？
A 平均10〜15L
B 平均20〜30L
- Q6 人と豆には共通するものがあります。それはどこでしょうか？
A 口
B へそ
- Q7 お茶には、抹茶や緑茶、紅茶などの種類がありますが、これらの違いはどのような理由からくるのでしょうか？
A 木の種類が違う
B 栽培管理や製造過程が違う
- Q8 シイタケにはビタミンDが豊富に含まれているといわれますが、さらにビタミンDを増やす工夫はどれでしょうか？
A 日光に当てる
B じっくり火を通す
- Q9 同じ作物を同じ土地で何年も連作したときに発生する病害や生育障害を連作障害といいます。ほとんどの作物で発生しますが、連作障害が起きにくいとされる作物があります。どれでしょうか？
A 水稲
B 小麦
- Q10 サツマイモの花とそっくりな花があります。それはどれでしょうか？
A バラ
B アサガオ

解説	
①食品に含まれるタンパク質の質を100点満点で評価する「アミノ酸スコア」は、精白米が80、小麦が42です。米と大豆や肉、魚を組み合わせるとさらにバランス良く栄養を取ることができます。	B ⑩ B ⑨ B ⑦ A ⑥ A ③ A ② A ①
②ブドウは房の上側（軸の方）から甘くなり始め、成熟が進むにつれて下側も上側の糖度に追いついていきます。	A ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
③牛の腎臓は、豆がブドウの房状に集まったような見た目から「マメ」と呼ばれています。しこしことした歯応えが特徴です。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
④栗の茶色く堅い「鬼皮」が果肉、とげとげの「いが」は皮に当たります。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
⑤乳牛1頭からは1日に約20〜30Lの牛乳が搾られます。乳牛は出産後、毎日搾乳しないと乳房炎という病気にかかってしまうため、1日に2回など欠かさず搾乳が必要です。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
⑥人のへそはへその緒が取れた跡で、母親から栄養をもらっていた場所です。豆のへそも細い管でさやとつながっていて、そこから栄養をもらって大きくくなります。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
⑦緑茶・紅茶・抹茶は同じ「茶の木（チャノキ）」の葉から作られますが、製造方法や栽培方法が異なります。紅茶は収穫した茶葉を発酵させて作り、抹茶は収穫前の20日ほど日光に当てずに栽培した茶葉を粉末にします。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
⑧生シイタケは日光に当たるとビタミンDが増え、香りも増します。食べる前に1、2時間軽く干しておくだけでも効果があります。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
⑨水田は水を張ることによって養分が補給され不要な成分が流される他、有害な微生物や虫が減るため、連作障害が起こりにくいといわれています。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨
⑩サツマイモとアサガオは、どちらもヒルガオ科サツマイモ属の植物で、花や葉がよく似ています。サツマイモの茎をアサガオに接ぎ木すると、アサガオの花が咲くといった面白い特徴もあります。	B ⑩ A ⑥ A ⑧ B ⑦ A ② A ⑦ B ⑨

早わかり国消国産の要点整理 食べることは、未来を選ぶこと

普段の買い物や食事の選択は、私たち自身だけでなく、次の世代の「食の未来」にまで影響します。日本は現在、食料の約6割を海外からの輸入に頼っています。もし輸入が止まったら——。そんなリスクを減らすために今、進めたいのが「国消国産」です。

「災害に備える」ように

「国消国産」運動を進める背景には、日本の食料事情があります。日本の食料自給率はカロリーベースで38%と、先進国の中でも低い水準にとどまっています。食料は輸入に依存しているのが現状で、国際情勢によっては突然、輸入が止まるというリスクを抱えています。

しかも、日本の農業は生産者が減り続けており、食料が必要になってもすぐに十分な量を生産できる環境ではありません。

「災害に備える」ように、普段から国産を選ぶことが、将来の食料を守る行動になるのです。

地産地消は国消国産の原点

「国消国産」と似た言葉に「地産地消」があります。地域で生産されたものをその地域で消費する取り組みです。

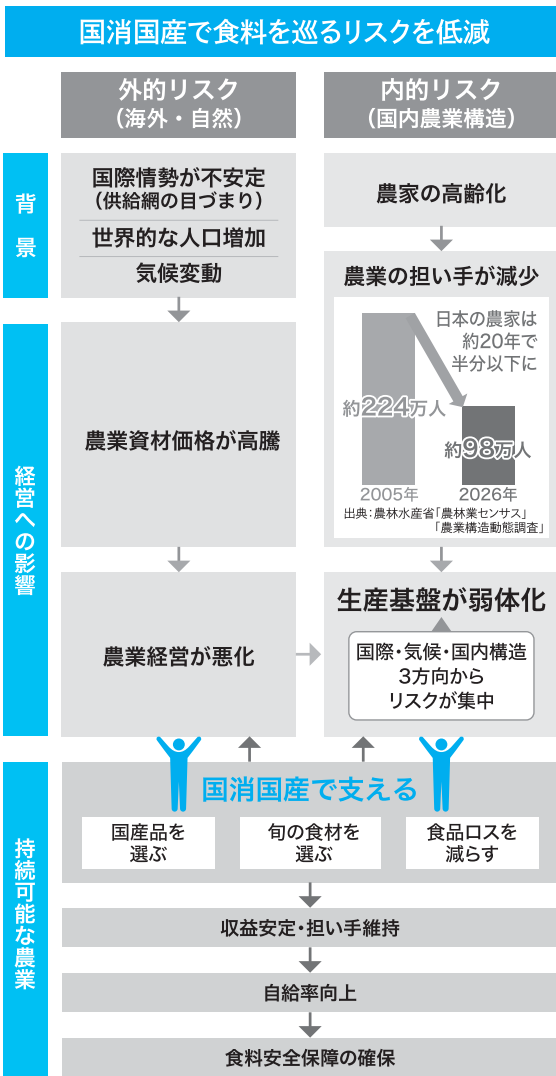
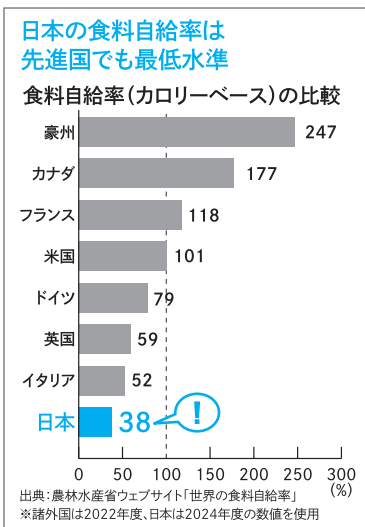
「地域で取れたものを食べる」「JA直売所で買う」「売り場で国産を選ぶ」「外食の時にも国産食材を使っているお店を選ぶ」——。その積み

重ね、その行動こそが国消国産となります。地産地消は、農畜産物の輸送距離が短く新鮮で環境負荷が少ないなどのメリットがあります。

「選ぶ」ことがすでに「行動」

野菜や肉を購入するときは産地表示を確認し、できるだけ国産品を選ぶこと、外食や加工食品でも国産原料に注目することが大切です。

旬の食材を選ぶことも有効です。旬の農畜産物は国内で安定して生産されることが多く、価格も比較的手頃で、味や栄養価も高い傾向があります。さらに、食べ残しを減らす「食品ロス削減」も重要です。せっかく生産された農畜産物を無駄にしないことも、農業を支える行動につながります。日々の小さな選択が、未来の食を守る力となるのです。



10月16日は「国消国産の日」

JAグループは国連の「世界食料デー」に合わせ、毎年10月16日を「国消国産の日」としています。また、10、11月の「国消国産月間」の期間中は、①JA直売所を複数回訪問すると全国の農畜産物が当たる「JA直売所キャンペーン」や、②JA全農の通販サイト「JAタウン」ではお客さまの送料負担なしとなる「JAタウンキャンペーン」——など、JAグループ各組織がイベントやキャンペーンを展開します。10月3日(土)には東京都内で大都市圏の消費者を対象にイベントを開きます。

みちのく ぼいす

おたより紹介
コーナー

「私・我が家の夏の思い出」 テーマ大賞

今回のテーマ

妹が幼稚園、私が小学校2年生だったでしょうか。ある暑い夏の日、父が隣の食堂に冷たいものを食べに行こうと連れて行ってくれたことがあります。私はラーメンが食べたかったのですが、父が勝手に注文した冷やし中華に腹を立ててぐずぐずしてしまいました。ところが、しぶしぶ食べた冷やし中華の酸味と冷たさがおいしく感じられて、食べきれない妹の分までたいてらしてしまいました。それを見ていた父の苦笑いした顔が今でも忘れられません。
(村山市／のぶちゃんさん)

花火大会にはなかなか行けませんが、自宅の二階から見える花火をみると夏も終わりがな〜と思ってしまう。
(村山市／ボテチマンさん)

私の夏は千葉まで一般道で、行ってきた事です。滞りて居る時に、水害にあって、観光しても水害の跡が凄くてビックリしてしまいました。帰りは車が、乗り捨てられていたり色々ありましたが、これに懲りずまた千葉には行きたいと思

ます。貴重な経験でした。みちのくボイスは色々な方が見ているんですね。読んでいただけると嬉しいです。秋の紅葉シーズンは皆さん何処にいくのかな？
(尾花沢市／海君おっちゃんさん)

今年の夏は、地震や洪水で、暑い中、大変な思いをされている方々を目にする。いつもの夏がネガティブになりがちでした。
(大石田町／ズンスンコさん)

家族総出で夏祭りに参加した事です。
(大阪府堺市／たるちゃんさん)

毎年どこも、孫達と一緒に健康効果のある海水浴に行くのが夏の恒例行事です。ところが、今年はみんなの予定が合わず、結局夫婦二人で行くことになりました。年に一回は潮風に当たったり、海水に浸かったりしたいと思い出発、天気は予報通り2日間ずーっと雨降り、傘をさして海の近くまで行くと潮風に当たることができ、海は穏やかで、とっても綺麗なブルーを見られただけで癒されリフレッシュできました。海水浴ができなかった夫は物足りなさを感じているとは思いますが、温泉に入ったり美味しいものを食べたり、まあこんな年もありかな？私は海を眺めただけでも大満足、今年の夏の思い出です。
(尾花沢市／めいさやさん)

毎年実家のお墓参りで地元の盆踊り祭りには参加したこと無かったけど、今年は息子家族と孫達と参加しました。地元若人達が主体になり、出店や飲食や飲み物抽選もあり盛り上がりました。夏の風物詩をこれらも無くさず続けて行っていきたいです。
(尾花沢市／桃好きあちゃんさん)

夏休みのはじめになると、帰省できる場所があることが羨ましいと思います。妻も都会に出生したため、その機会がありません。子どもの時に何度か祖母の故郷である高田町に出掛けた際の田園風景を今も鮮明に覚えています。
(京都府京都市／サラダさん)

夏は家族、親戚が集まっていっぱい食べて飲んで玄關にたくさん靴やサンダ

ルがそろっているのが大好きです。水遊びなどで集まった人数より多くなるサンダル。幸せです。
(尾花沢市／2児の母ちゃんさん)

屋敷内の畑に自家用にすいかを作ったのですが、一番立派に育った大玉が、23日の間に6個イノシシからきれいに食べられてしまいました。対策としてポットの葉が効果があるかもとネットで見たので、割ったすいかに枝をさしたり押し込んで、食べてくれと置いてみました。しかし、それで降来なくなりました。効果がなかったのか、もっとおいしいすいかを見つけたのか、話には聞いていたのですが、すぐ近くまでイノシシ来るのですね。暑い夏の思い出です。
(大石田町／快のじいちゃんさん)

お盆に実家に帰省。お墓参りの後は、家族みんなでバーベキュー。毎年の恒例行事。おいしいものを食べてワイワイ楽しみました。
(山形市／あいちちゃんさん)

夏と言えば花火ですね。自宅の庭で線香花火をよくやっていたものです。最近では花火をお店で買って売ってないでしようか。全国の花火大会をテレビで見るのが楽しみです。
(愛知県岡崎市／あふがんさん)

今年の夏は家族や親戚と結婚のお祝いの食事会をして、みんなに祝っていただき、夫が私の実家に滞在し、庄内へ行って海水浴をし、新庄の相模巡業を見に行き、兄家族と南陽の熊野大社へ行き、幼なじみと一年ぶりに喫茶店でおしゃべりをし、毎年恒例のお仏壇掃除をし、お盆に家族と無事にお墓参りをし、姪とその友達の泊まりに来たのと一緒にプールで楽しんできた。東京の親戚が泊まりに来てバーベキューをし、山形美術館に白鳥夜行展を見に行き、かき針編みでコースターを作り、小さい頃お世話になったバノの先生に会い、初めて丸亀製麺でうどんを食べ、最高に楽しく充実した夏を過ごしました。
(大石田町／多趣味さん)

部活の夏祭りに外孫2人、それぞれ違

前から布団の準備や部屋の掃除を。全員そろってからは日々3食のメニュー考案等で大変！でも子供や孫が帰った後の茶の間は夜に広く、夜になると虫の鳴き声と相まって物寂しい気持ちに、たくさんの笑顔が楽しいおしゃべり、あいがつ、またね。母(祖母)は少々うとうとします。
(村山市／赤毛のアン大好きさん)

私たちの小学校の頃は、プールはありませんでした。部落に大きな川が流れていました。流れに石を積み、せきを止め深くし泳いだものです。水は冷たく、唇が赤紫になるまで入っている人もいました。今、あの川を見ると小川で大きな川には見えなくなりました。懐かしさもあり、寂しいようなあの頃が思い出されます。
(村山市／コロコロヒロさん)

今年も推しと過ごした夏。推しに喜んでもらうためイベントを考え(BBQ、流しうめん、おかしり、野菜収穫体験など)、イベント中は推しの体調管理に気を配り、あつという間にイベント終了した、抜け殻のように身体が動かす。セミの鳴き声を聴きながら、セミの一生よりは、推しの時間は短かったけど、忘れられない夏でした。推しにとってこそうたわれいな。推しに。推しに。
(村山市／チャラ男さん)

夏は盆踊り、キャンプファイヤー、海と45年も前に青年団に入り、いろいろな体験して楽しく愉快で面白かったことを

みちのく川柳・短歌・俳句コーナー

清流に 箒で付きける 鰻と 夏の頃の 夏の思い出

※夏休みになると地元の川に友達と毎日のように、鰻と川に行っていました。今では見かけることもなくなりました。今でも川に鰻がいてると思

級友の歌手 五十五年の足あと ふる里に展示す
(村山市／コロコロヒロさん)

◆毎月たぐさんのお便りありがとつてございます。

◆秋のはじまりを感じる時」です。

9月に入り秋を感じる時が多くなつてくると感じます。皆さんはどんな時に秋を感じるでしょうか。風景、食べ物、行事等々…お便りをお待ちしています。

クロスワードパズル

クロスワードを解いて、A～Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

1	6		11	14	18	22
2		8		15		
		9	12		19	
				16		
3			13			23
4		10		17	20	
5					21	

→ ヨコのカギ

- 1 食べば鐘が鳴るなり法隆寺(子規)
- 2 ヒトコブだったりフタコブだったり
- 3 味噌煮にしてもおいしい魚
- 4 元のものから分かれること。新たな問題が——する
- 5 橋につけられた柵
- 6 油絵を描くのに使う布。画布ともいいます
- 7 ——の上にも三年
- 8 転居、屋移りともいいます
- 9 漢字から作られました
- 10 歯を抜くときにかけるもの
- 11 付けている人は誰なのかが書いてあります
- 12 寺院に入るときくぐることも
- 13 彼はクラスで——を抜いて足が速い

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

↓ タテのカギ

- 1 おでんにつける黄色い薬味
- 2 アフリカ大陸北部に広がる——砂漠
- 3 仏花によく使われます
- 4 運動会の競技のひとつ
- 5 小豆は昔、赤い——と呼ばれました
- 6 えんぺらがある魚介類
- 7 ダーウィンが提唱した——論
- 8 夫の配偶者です
- 9 皮がむきやすい黄色い果物
- 10 秋萩ともいわれる花
- 11 いざというとき、体を膨らませる魚
- 12 酒などを買う前に、味や香りを確認
- 13 「考える人」で知られる彫刻家

8月号の答え「クツワムシ」

1	5	8		12		17
	6			13	15	
2			11			
	7				16	
3						
	9					
4						
	10					

パズル正解者の中から厳正な抽選の結果、下記の5名の方が当選しました。おめでとうございます。

- ・こっちゃんのばあさん(大石田町)
- ・2児の母ちゃんさん(尾花沢市)
- ・チャラ男さん(村山市)
- ・山ちゃんさん(村山市)
- ・海くんおっかあさん(尾花沢市)

パズルを解いて、さあ応募！

すてきな賞品をプレゼント
みちのくぼいす「テーマ大賞」………1名
クロスワードパズル正解者の中から………5名

◆応募のきまり

- ・応募は1人につき1回有効です。
- ・紙面の都合により「みちのくぼいす」に掲載されないこともあります。
- ・「みちのくぼいす」に掲載されない場合、パズルは抽選対象になります。
- ・当選発表を『ふれあい』10月号で行います。あらかじめご了承ください。

◆応募先

- ・ハガキ…(記入例)をご参照ください。
- ・電子メール…fureai@mitinoku.or.jp
- ・FAX…0237-55-5825

◆応募締め切り

9月24日(木)
※ 当日消印有効

【ハガキ記入例】

85 995-0011
村山市横岡北町
一丁目1番1号
JAみちのく村山
広報係 行

①パズルの答え
②「みちのくぼいす」テーマなどに関する身近な話題、ご意見・ご感想
③郵便番号・住所
④氏名・ペンネーム
⑤年齢
⑥性別
⑦電話番号

ペンネームを使用する方は、本名・ペンネーム両方とも記入して下さい

住所の書き忘れにもご注意ください！



山羊座 12/22~1/19

【全体運】辛口の運氣。気持ちを引き締めて。課題をクリアすれば大きなご褒美が待っています。周囲からの助言には耳を傾けて
【健康運】運動不足に注意。お風呂は湯船にゆっくりつかって
【幸運の食べ物】柿



射手座 11/23~12/21

【全体運】良好運です。旅行やおけいこなど、やりたかったことをする時間を多めに取らしましょう。語学の勉強で運を招いて
【健康運】大勢でワイワイ楽しめる運動がお勧め。大会参加も吉
【幸運の食べ物】ニンジン

理事会だより

第6回理事会が8月20日に開催
主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号議案 大口貸出の承認について
- 第2号議案 共済規程の一部変更について
- 第3号議案 出資口数の減口承認について

- 【報告事項】
- ・理事会への経過報告および行事予定について
 - ・主要勘定・安全性の指標について
 - ・みのり監査法人期中監査Ⅰの実施について
 - ・令和7年度JA財務モニタリングの結果について
 - ・令和8年度産すいか集荷実績について
 - ・肉用牛販売実績報告について
 - ・JAグリーン営業時間について
 - ・企画旅行集客状況について
 - ・利益相反取引の報告について
 - ・受益証券の売却について
 - ・特殊詐欺被害防止に向けたATM利用限度額の変更のお知らせについて

「未来のために ～Next Chapter(次の章へ)～」
(第十次経営管理3カ年計画スローガン)

おらえの変わりモノ

村山市大久保／軽部 憲一さん

三つ子なす

大石田町四日町
小林 和男さん

ぶっくりなす

二本足大根

大石田町横山／八代 葉子さん

ハートすいかを抱えるクマさん、
双子メロン

ねじれ大根

大石田町横山
飛渡 真貴子さん

大石田町駒籠／海藤 生寿さん

片倉さんが最優秀賞
～総称山形牛枝肉共励会～

第57回総称山形牛枝肉共励会が8月28日、東京都港区の東京食肉市場(株)で開かれました。24頭が出品し、片倉雄一さんが肥育した黒毛和種の雌牛が最優秀賞を受賞しました。



最優秀賞に輝いた片倉さん

JAグリーン営業時間のご案内

	9/1～10/31	定休日
グリーンたておか	8:30～17:00	土・日曜日、祝日
グリーンごてん	8:30～17:00	日曜日
グリーンおばなざわ	8:30～17:00	日曜日
グリーンおいしだ	8:30～17:00	日曜日
産直館 はいっと	9:00～17:00	なし

※9月30日は、棚卸のため休業となります。

自動車点検整備推進運動

クルマの点検

点検整備
やらないと

忘れないうちの暮らしに

安全と環境保全には、点検・整備が必要です

「自動車点検整備推進運動」に関する情報や各種チラシ等はコチラ

※各地域の取組については、最寄りの運輸局にお問い合わせください

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha/tenkenseibi/tenken/t3/t3-1/>

JA共済よりお知らせ

課税所得控除共済掛金払込証明書について

所定の要件を満たした共済契約の共済掛金を支払った場合に所得税を軽減できる制度として、生命保険料控除と地震保険料控除があります。JA共済では課税所得控除共済掛金払込証明書を毎年9月以降にご契約者様へ交付し、税務申告時の共済掛金払込の証明としてご活用いただいております。

9月5日以降に新たに共済契約にご加入いただいた場合や9月5日以降に共済掛金を払い込んでいただくご契約（年払い）については、**口座振替等により共済掛金の払い込みが完了した都度、ご契約者様へ郵送いたします。**ご確認のうえ大切に保管をお願いいたします。

なお、応当月11月、12月の年払契約については、年末調整等に使用する「共済掛金証明予定額案内書」を交付いたします。

窓口での交付は原則ご対応しかねますので、ご容赦願います。

特殊詐欺被害防止に向けたATM利用限度額の変更のお知らせ

ATMにおいてお客さまの貯金が不正に払い出される特殊詐欺の犯罪が増加していることを受けて、9月1日より、キャッシュカードなどによる取引時の1日あたりの利用限度額を以下のとおり引き下げました。

ご不便をおかけしますが、警察庁からの要請も踏まえた対応であり、ご理解をお願いいたします。

媒体種別	対象取引 *1)	変更前	変更後
ICキャッシュカード	IC取引	100万円	50万円 *2)
磁気ストライプ キャッシュカード、通帳	磁気取引	50万円	50万円

*1) ATMでのお引出し、振込等が対象となります。

*2) あらかじめ設定されている利用限度額から変更されている場合は変更対象外となります。

JA'ss 新イベントのお知らせ (株)みちのくサービス

毎月第4土曜日開催!! BOXティッシュDAY

ガソリン 軽油 灯油 を20ℓ以上給油で

BOXティッシュ1箱プレゼント

給油後、レシートをスタッフに提示してください

給油所5店舗で毎月開催いたします!!